

濁度用 TN100CALKIT について

TN100IR 濁度計用の校正液セットである TN100CALKIT は標準液を安定して保管するためプラスチックボトルに入っています。これにより、従来のガラスバイアルに入った状態よりも使用期限が長くなりました。しかし、濁度計で使用するには、濁度計に付属している空のサンプルバイアル瓶を使用して、校正用バイアルを準備して頂く必要があります。校正用バイアルの準備方法は、下記を参考にしてください。

- (1) ガラスバイアル上に引っかき傷やマークがないことを確認してください。バイアル上に存在するマークなどが濁度測定に影響を与える場合は、異なるバイアルを使用してください。
- (2) 校正液の入っているプラスチックボトルを 5 回、ゆっくりと優しく反転させてください。プラスチックボトルを振らないでください。空気の泡が読取に影響を与える可能性があります。
- (3) ガラスバイアルに標準液を 3-4mL くらい使用して、バイアル内部を洗浄してください。キャップをした後に 5 回くらい反転させます。その後、キャップをあけて標準液を廃棄してください。
- (4) ステップ 3 の過程を何度か繰り返してください。
- (5) バイアルの補充ラインまで標準液を補充して、バイアルのキャップをしっかりとしてください。
- (6) 不織布のワイパーを使用して液後・汚れ・指紋など、バイアル外部の汚れを拭き取ってください。頑固な汚れはアルコールを使用して取り除いてください。ガラス表面は決してこすらないでください。バイアル外部にある小さなスクラッチなどは、付属しているシリコンオイルを使用して拭いてください。
- (7) 異なる値の標準液も、1~6 のステップを繰り返して、校正用バイアルの準備を行ってください。

校正用バイアルを使用して、標準液の値を読みことにより本器校正状況の確認や必要に応じて本器の校正を行うことができます。標準液の読取が標準液の NTU 値より 10%以上ドリフトする場合、プラスチックボトルに入っている新しい標準液を使用して校正用バイアルを再度準備してください。

濁度計で使用する標準液の値

CAL 1	800 NTU 標準液
CAL 2	100 NTU 標準液
CAL 3	20.0 NTU 標準液
CAL 4	0.02 NTU 標準液

校正標準液の使用期限に関しては、校正液セットのボトルラベルをご確認ください。

大変重要なこととして、校正標準液は激しく振ったり、攪拌したりしないでください。液内に取りこまれる空気が校正中のエラーの要因になり、不正確な測定になる恐れがあります。また、冷凍庫などで校正液を保管しないでください。標準液のパーティクルが縮小し、不正確な校正と測定を引き起こす原因になります。